

セ タ ガ ヤ ボ ン テ ィ ア ネ ツ ト ワ ー ク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2023.08 No.232

今月のトピック

●特集 P.2-5

介護ってなにすればいいの? 認知症って何?

「あんしんすこやかセンター」で基本のキを学ぶ

●まちの市民力 P.6

居場所カフェ「コモリナ」

●せたがやキラリ人 P.7

明智 洸一郎さん

●イラストレーター Arata

精神の病気の治療のため、絵を描いてきました。

今は随分と良くなり、楽しく絵を描かせてもらっています。

●わたしの世田谷

世田谷の病院の家族会事務所に、絵を飾らせてもらっています。会の皆さん、優しくていい人ばかりで、世田谷は、いいところだと感じています。



介護ってなにすればいいの？ 認知症って何？
「あんしんすこやかセンター」で基本のキを学ぶ



池尻あんしんすこやかセンターの左から
主任介護支援専門員・河野由香さんと、看護師の小西和子さん
このゆか こにしかずこ

私の高齢の義父母は二人暮らし。数年前から、75歳の義母の物忘れが激しくなっています。会えば最低でも5回は同じ話をするし、通帳や鍵もしょっちゅう紛失する。でも、料理など家事はできている様子で、バスで目的地にも行けます。「まあ歳だし多少はボケてくるものだろう」と夫と静観していたのですが、義父の入院をきっかけに実は義母が多くのケアを必要としていることがわかり、私は初めて、眼前に「介護」という課題がちらつき始めていることを実感しました。今まで全くの他人事だと思っていたので、知識はゼロ。情けなくも「介護 初動」と検索した時にヒットしたのが、「地域包括支援センター」でした。

(取材／編集委員 清藤 千秋)
(撮影／近藤 浩紀)

「地域包括支援センター」って
どんなところ？

地域包括支援センターは2005年、介護保険制度改定をきっかけに誕生しました。日本全国の各自治体に設置されている高齢者のための相談施設で、社会福祉士、ケアマネージャー、保健師、看護師などの専門職員に相談ができます。

呼び名は地域によって異なる場合があり、世田谷区は「あんしんすこやかセンター」という名称で、区内に28の活動拠点があります。今回お話を伺ったのは、池尻あんしんすこやかセンターの主任介護支援専門員・河野由香さんと、看護師の小西和子さんのお二人。認知症や介護についての知識ゼロの私に、「あんすこ」の役割を丁寧に教えていただきました。

「世田谷区の場合は、介護だけでなく、医療と福祉の総合窓口になっています。その上で介護に関



希望の星プロジェクト

しては、相談を受けながら介護予防のためのケアプランを立てています」と河野さん。「介護保険の申請など各種手続きの他、介護の仕方がわからない、病院で認知症と診断されたがお金の管理をどうすればいいかわからない、あるいは近隣の高齢者への虐待の疑いなど、さまざまな相談が寄せられます。偏った見方にならないよう、異なる領域の専門家たちが知見を持ち寄り対応を検討しています」。毎日、一般区民以外にも、介護

や医療のサービス事業者が来訪します。窓口に来られない方からの電話相談にも対応し、訪問することも。介護に関する対応以外では、障害のある子どもを育てている家庭、あるいはその親の健康状態が悪化した時にどこを頼れば良いか、という相談もやって来ます。悩んでいるけどどこに問い合わせるべきかわからない、という声も寄せられるため、内容に応じて適切な対応ができる区内の部門や機関につながるのも大切な仕事なのです。

認知症への

ネガティブな知識を塗り替える

小西さんは、世田谷区で2020年から施行されている「認知症とともに生きる希望条例」について教えてくれました。「認知症の当事者の意見を積極的に採用し、当事者が安心して暮らせるような地域づくりを目指すための

条例です。認知症に対するパブリックイメージには、徘徊や、排泄物を触るなど、ネガティブなものが多いのが現状。でも、皆さん生まれた瞬間からそんな状態だったわけではなく、認知症になる前の人生、生活を持っています。当事者の希望を尊重するために、どうサポートができるか？ と、自分ごととして一緒に考えるためのアクション講座を開催しています。当事者の方、ご家族以外も参加可能です」

すでにかなり進行してしまい、大変な状態にある当事者のサポートには、介護専門職、医療機関を交えた対応が必要ですが、認知症の進行には段階があります。軽度な症状が見られた頃からのサポートが大事、と小西さん。

「認知症が軽度の場合は、自分の希望をしっかりと伝えることができます。その段階から『この人は何もわかっていないから、全部やってあげよう』と周囲が対応す



子ども達に積み木を贈るプロジェクト

ると、深く傷付きますし、大きなストレスになってしまふ。ご本人がやりたいこと、楽しい・うれしいと思うことをやってもらおうと、認知症の進み方も緩やかになると言われています」

池尻あんしんすこやかセンターのアクション講座では、参加者が「こんなことができたらいいな」という思いを「希望の星」に書き出す企画も行なっています。館内

に張り出されたたくさんの星、希望が綴られた筆跡を見て、私はなんだか胸が一杯になってしましました。「あくまで一人の『人』として接して欲しい」「物忘れがない様耳がきこえて！」「『かわいそう』と思わないでほしい」「自分でもできるボランティアなど人の役に立つ場所があったら嬉しいです！はり合いを失くしたくないナ！」。

認知症は誰にとっても自分ごと

これまで私は認知症に対して、「ケアの対象」と、対等な存在だと思わなくなっていた節がある気が付かされました。当事者にはそれぞれの来し方、生活があるため、当然必要な対応も違います。「二人として同じ関わりはない」と河野さんは「あんすこ」での仕事を振り返ります。「『サービスが受けられる』という意識で相談にいらっしゃる方が多いのですが、

本来、その方自身の力があります。出来ないことを補うだけでなく、出来ることを出来るくならないようにするためのサポート、という捉え方も大切なんです」

その人自身の力を地域活動に活かす取り組みも行われています。三宿四二〇商店会のイベントでのガーランド作りや、児童館をはじめ、地域の子どもたちにプレゼントする積み木作りなどです。積み木作りでは大工の経験があった認知症の当事者が木を切り出す作業を担ったそう。「ご自身の強みを最大限に發揮して、大変生き生きされていました」と嬉しそうなお西さん。

高齢者の四人に一人がなるといふ認知症。家族だけでなく、自分自身もなる可能性がある病気だと思えば、世代を問わず自分ごととして知識を蓄え、備える必要があると改めて感じます。

認知症の当事者が安心して自分の症状についてカミングアウト

し、それを周囲が受け止め、適切なサポートを行う。互いに「助けて」と「何かあったらいつでも言ってく」と気軽に言い合える環境づくりこそ、世田谷区が最終的に目指しているゴールなのです。

みんなが仲間。
地域で孤立しないサポート体制を

高齢者に限定せず相談を受け付



三宿四二〇商店会さんのイベントで使う
ガーランドを作成
写真：提供

けている「あんすこ」は、まちづくりセンター、社会福祉協議会、児童館を含む4機関で連携し、最低でも1ヶ月に1回はそれぞれの情報交換を行なっているそう。さらに、「ごみ出しをサポートしてほしい」「犬の散歩をお願いしたい」という細かなニーズを叶えるため、ボランティアセンターにボランティア募集を依頼すること

も。
縦割りではなく横の連携を強化することで、地域の課題をシームレスに解決することを目指しています。

住みやすい地域を作るためには「みんなが仲間」という意識が必要、と河野さん。「例えば、子どもたちの遊び場を計画する際は、さまざまな世代間での合意形成が必要。子ども達の遊ぶ声が『騒音』だとクレームが入るケースもあります。実はそれも紐解けば、具合の悪い高齢者や、介護が大変でやっと眠れたところに子どもた

ちの声で起こされてしまった、というご家庭だったりする」

こと認知症に関して言えば、一人暮らしの高齢者やそのケアを担う家族を見守る地域の眼差しも大切。私自身もそうですが、仕事に忙しい現役世代は、毎日が家と職場の往復で、地域との接点が希薄になりがちです。河野さんは「20、30代で介護に直面する人は、同年代に同じ悩みを持つ人がいないため、孤立しやすい。それを防ぐためにも、今後もアプローチの方法を増やしていかなければならないと感じます」と語ります。

お話を伺うと、「地域包括支援」という壮大なテーマのもと、「あんすこ」の職員の皆さんが目の前の人たちの悩みに懸命に対応している様子がひしひしと伝わってきました。認知症への理解を深めることに加え、地域で生きるとはどういうことか、というテーマについても、深く考えさせられる取材でした。

池尻あんしんすこやかセンター（世田谷区地域包括支援センター）
電話 03-5433-2512 FAX 03-3418-5261
住所 世田谷区池尻 3-27-21
窓口開設時間 月～土 8時30分～17時
日、祝祭日、年末年始 おやすみ



～ひきこもりのひきこもりによるひきこもりのための居場所～
居場所カフェ「コモリナ」

まちの 市民力!!

取材・市川 徹

街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



やまもとじゅんいちろう
左) 山本純一郎さん
さかもとめぐみ
右) 坂本恵美さん

4月2日、ひきこもりのための居場所、居場所カフェ「コモリナ」が東北沢の駅近くにオープンしました。この居場所を運営しているメンバーで、発達障害・引きこもり当事者でもある代表の山本純一郎さん、副代表の坂本恵美さんにお話を伺いました。

きっかけは、もともと当事者が集まる場が世田谷にほしいと話していた時に、この物件が区の空き家等地域貢献活用事業に出たこと。昨年11月に応募、今年4月にオープンと駆け足の準備でしたが、オーナーも引きこもり当事者の居場所に使ってほしいとの想いだったこともあり、スムーズに進めることができたそうです。

「コモリナ」は1階の一部屋を居場所として開放していて、2階は「みら子屋塾」となっています。居場所は原則午後の昼間に開けていますが(※1)、イベントを開催する場合は居場所の部屋の他、台所や2階の共用スペースも貸出可能。運営メンバーのうち、2人以上集まれる日に開けているそうです。利用料は1日500円。利用者は、誰も来ない日もあれば、Twitterで見た、引きこもりの居場所を検索してなど、遠くから来られる方もいるとのこと。

坂本さんは、自分の家から出たけれど外が怖い、でもここだったら安心、といった空間にしたいという。ただ、居心地がいいかは個々

人で異なる、その塩梅がわからないので試行錯誤中とも。また、山本さんからは、地域のために何かできることを見つけたら、とも言います。例えば、地域の困りごとを伺い、できそうなことがあれば利用者さんに声をかけ、それをきっかけに地域とつながれたら、といったことです。引きこもり当事者の居場所と謳っています、お年寄りの駆け込み的な場所にもなれば、との想いも。

今は日中のみの活動ですが、将来的には夜の会食イベントや、貸し棚の活用も図りたいそうです。また、池之上青少年交流センターやみんなのひろばなど、近所の地域団体とつながりたいとも。合わせて運営メンバーも募集中とのこと(※2)。

居場所はわざわざ遠くに行くのではなく近くにあるに越したことはありません。こうした多様な居場所がさらに増えてくることを期待したいです。

居場所カフェ「コモリナ」(世田谷区北沢1-24-8)

HP: <https://komorina.jimdofree.com/>

Twitter: <https://twitter.com/CafeKomorina/>

※1 当事者運営のため開所日は体調により不定、詳しくはTwitterをご確認ください。

※2 メンバーは当事者でなくてもOKですが、あくまで当事者主体の居場所にしたいとのこと。



「おもしろそう」から始まる社会貢献

明智 洗一郎さん
あけち こういちろう

や せた人が キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵なたたを
ご紹介しします
取材●近藤 浩紀

し、「牟田さん
に相談しに行こ
う！」と当時、
千歳船橋にあつ
た世田谷ボラン
ティアセンタ
ーに行きます。

そこで「会社

明智さんは世田谷区奥沢生まれ。高校時代は新宿にある学校の山岳部で、高校卒業後は、北海道大学農学部で植物病理学を学びながら山登りを楽しんでいました。

大学卒業後は、大阪で農薬の研究・開発をする企業に勤め、営業で東京や北海道を行き来する忙しい日々を過ごしました。50代になり、東京に戻り人事・総務部門で仕事をしていると早期退職の話が会社からありました。「早期退職してもいいが、その後どうしようか」と考え、以前から新聞やテレビで見ていた俳優（当時世田谷ボランティア協会理事長）牟田悌三のボランティアの話の思い出

で世話をしただけでなく、社会に関わる事もした方がいいよ」とアドバイスを受け自分自身を振り返りました。世田谷で生まれたのに、あまり世田谷と接点がないことに気が付き、世田谷で何かしたいと相談したところ、区内で外国の方に日本語を教える『JICA』を紹介され、明智さんのボランティアライフがスタートしました。

しばらくして会社を退職し、植物に長年携わってきたので植物関連のボランティアをしようと考え、独立行政法人国際協力機構（JICA）に相談に行きました。そこでパナマ共和国のランの保護活動を知り、2000年4月

から2年間パナマに移住します。そこで、ラン自体の問題ではなく、そこに住む人たちに関わる問題を解決する必要があると、現地の人の生活をサポートする団体『APROYACA』を立ち上げます。その後、さまざまな機関から資金を調達し、ランの保護施設を立ち上げました。さらに現地の人の生活をサポートできるよう、仲間の協力も得て、保護施設を観光ラン園にして、収益を得るようになりました。現在も日本から現地をサポートする団体『COSPA』の代表として活動しています。また、シルバー大学校のメンバーとして生涯学習会の運営や若者と交流を図るために色々な場所に赴いています。

明智さんの原動力は「何かおもしろそうながあったらやってみる！ 個人だけではなく、社会に関わるのかな」と、牟田悌三からのアドバイスを軸に、今日も精力的に活動しています。

・COSPA のホームページ
<http://cospa.main.jp/>

・シルバー大学校メンバー募集中。問い合わせは以下のメールアドレスに送ってください。
silver-daigaku-kai@googlegroups.com

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

電話でお話ししながら、どんなことができるのか、どんな解決方法があるかを一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・原口
TEL 5712・5101
takai@otagaisana.or.jp

ボランティア求む

東小 2施設合同・施設公開行事のボランティア募集

世田谷区岡本にある障害者施設、泉の家と岡本福祉作業ホームで開催する施設公開行事でボランティア募集をしています。当日はゲームや手作りコーナー、スタンブラリーや製品販売などを行います。利用者やご家族、地域の方と楽しく交流ができるようなお祭りにならしたいと思っています。そこで、利用者と一緒に楽しんでもくれる方や催し物の手伝いをしてくださる方を募集しています。ぜひ一緒に楽しく参加しましょう！

●日時／9月2日（土）9時～15時半

●場所／泉の家
（世田谷区岡本2・33・23）
または岡本福祉作業ホーム
（世田谷区岡本2・33・24）

●交通／二子玉川駅か成城学園前駅からバス「岡本三丁目」下車徒歩5分

●条件／18歳以上

●問合せ／社会福祉法人泉会・泉の家 担当 奥田
TEL 3417・3451
izumi@izumikai.jp
https://izumikai.jp/izuminioie

京 夏休み期間の中学生男子の見守りボランティア募集

中学1年生の知的障害のある男子（愛の手帳2度）が、保護者が就労後、本人がデイサービスに行くまでの間、本人と一緒に遊んだりしながら見守りをしてくださる方を募集しています。詳細はお問い合わせください。

●日時／7月24日（月）～8月31日（木）の月・火・木・金・土

午前9時15分～10時30分

●場所／世田谷区上北沢

●交通／上北沢駅から徒歩圏内

●条件／週1回程度可、男性希望

●問合せ／鳥山ボランティアビューロー
TEL 6909・0333
karasubora@otagaisana.or.jp

世 車いす利用者の付き添いボランティア募集

世田谷2丁目にお住まいの手動の自走式車いすご利用の70代男性が、スーパーや図書館へ出かける際に付き添ってくださる方を求めています。読書や音楽鑑賞、人と会話することが好きな方です。段差や坂道などがある為、外出の際はどなたかの協力が必要です。2週間に1回ほどのペースで、水曜または金曜日の午後にサミットや中央図書館へ出かけます。また、小雨の場合も外出しますが、大雨など悪天候の場合は中止します。

男性とお話を楽しみながら協力して下さる方、お問合せお待ちしております。

- 日時／2週間に1回、水曜か金曜日の13時半〜15時半
- 場所／世田谷・上町近辺
- 交通／上町駅徒歩7分程度
- 条件／男女問わず車いすを押す体力のある健康な方
- 問合せ／北沢ボランティアアビュロー 担当 石川

TEL 3420・2520

kitabara@otagaisama.or.jp

小 千歳台福祉園の秋桜祭りのボランティア募集

知的障害者の通所型・生活介護施設である世田谷区立千歳台福祉園で開催する秋桜（コスモス）祭りのボランティアを募集します。秋桜祭りでは様々な催しや企画をしており、ご利用者やご家族はじめ地域の方々に楽しんで頂けるようなお祭りを開催したいと思えます。そこで利用者の方と一緒に楽しんで下さる方・催し物の手伝いをして下さる方を募集致します。利用者の方と一緒に楽しんで下さる方・元氣な方、大歓迎です。

- 日時／9月16日（土）8時半〜17時頃
- 場所／千歳台福祉園（世田谷区千歳3-31-9）
- 交通／千歳船橋駅から京王バス千歳烏山行き5分バス停廻沢（めぐりさわ）下車すぐ
- 条件／謝礼あり（4000円）
- 問合せ／世田谷区立千歳台福祉園 担当 小泉・鈴木

TEL 3789・9801

chitoseda@hemis.ocn.ne.jp

京 小4女児の習い事のお迎えをして頂ける方募集

小学校4年生の女の子が、①プール（烏山中学）と②将棋教室（経堂）に通っていますが、それぞれのお迎えの場所から、自宅までのお迎えのお手伝いをお願いしています。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／①毎週水曜日 19時50分
- ②隔週土曜日 18時

- 場所／自宅（世田谷区粕谷）から習い事の場所まで
- 交通／芦花公園駅周辺
- 条件／①は女性を希望
- 問合せ／烏山ボランティアアビュロー

TEL 6909・0333

kasubara@otagaisama.or.jp

東 学校に行くことが苦手な女の子と一緒に過ごしてくれるお姉さん募集

学校に行くことが苦手な女の子が平日は高校へ行かずに室内で過ごしており、一緒に過ごしてくれるお姉さんを探しています。話すことが大好きな明るい女の子で、寄り添って話を聴いてくれる方を希望します。プリキユアやアイカツが大好きなのでアニメの話も聴いてくれたり、UNO・トランプなどをして遊んで頂けたらうれしいです。詳しくはお問合せください。

- 日時／平日10時から17時の間で1〜2時間（曜日・時間は応相談、月2回からでも可）
- 場所／世田谷区弦巻
- 条件／女性（子どもが好きな大學生くらいのお姉さん）、交通費支給（上限あり）
- 問合せ／玉川ボランティアアビュロー

TEL 3707・3528

tanabara@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

小

一緒にサッカーをしてくれるお兄さん募集!

小学校低学年の男の子が、一緒に外遊びをしてくれるお兄さんを探しています。お母さんは視覚障害があり、公園に連れていくことが思うようにできません。男の子は、サッカーやキャッチボールなどを動かすことが好きですが、どうしても室内で一人遊びをすることが多くなってしまうます。放課後や祝日に、自宅に迎えに行き、サッカーをしてくれるお兄さん、まっています!

●日時/平日15時以降と祝日(時間是要相談)
●場所/自宅(大蔵)から徒歩10分の砧公園、大蔵運動場など
●交通/二子玉川駅、または成城学園前駅からバス10分
●条件/大学生くらいのお兄さん
●交通費支給(上限あり)
●問合せ/玉川ボランティアアビュ
ーロー
TEL 3707・3528
tamabor@otagaisama.or.jp

東
いっしょに勉強をしてくれる女性求む

等々力近辺にお住いの小学校低学年の女の子が、平日の放課後や週末に、一緒に宿題をしてくれる方を探しています。学習がゆっくりめで、音読や計算に時間がかかります。そばに寄り添って、女の子のペースに合わせて教えてあげてください。お人形遊びが好きで、明るくて活発な女の子です。子ども好きで、一緒に勉強してくれる方、お待ちしています。

●日時/平日放課後、土日。時間応相談。週1回から。
●場所/自宅
●条件/女性、交通費応相談
●問合せ/玉川ボランティアアビュ
ーロー
TEL 3707・3528
tamabor@otagaisama.or.jp

有償スタッフ募集

東
80代男性の見守りをお願いします

車いす生活の81歳の男性(桜新町在住)が、奥様が留守の時に一緒にいてトイレ介助をしてくれる方を求めています。寡黙ですが元気な方です。将棋をしてくれる男性の応募をお待ちしています。

●日時/月一回
●場所/桜新町2丁目自宅
tamabor@otagaisama.or.jp

東
難病の方の通勤サポート&PC作業手伝い&犬の世話をしてくださる方募集

関節の炎症のため1人での歩行が難しい女性教員が、通勤サポート(車の運転および歩行時に荷物を持つ)(片道40分程度)と、仕事場および自宅でのPC作業(マールチェック等。PCはMac)を手伝ってくださる方を探しています。

また、犬の世話をお願いすることがあります。おとなしく眠っていることが多いので、お世話はほぼ不要ですが、見守りをお願いしたいです。
通勤にはご本人の車を使用し、道に慣れるまではご本人が片道を

運転することが可能です。現在複数名でサポートしていますが、新たに活動して下さる方を探しています。まずはお問合せください。
●日時/毎週火曜日10時半~17時
●場所/自宅(野毛2丁目)と職場
●交通/上野毛駅(自宅最寄り)
●条件/女性 1回6968円(6.5時間の場合) 1072円/時、集合場所までの交通費別途支給
●問合せ/玉川ボランティアアビュ
ーロー
TEL 3707・3528
tamabor@otagaisama.or.jp

視覚障がい者の外出時に お手伝いいただける方募集

北沢地域にお住まいの視覚障害のある方が、外出時に付き添っていただける方を求めています。この方はほとんど目が見えず、普段はヘルパーさんや同行援護のサービスなどを受けながら暮らしています。活動的で長年歌をうたう活動をしており、その用事で区内各地や周辺へ出かける際の付き添いや、その他自宅にて手紙や印刷物の読み上げ、代筆などをして下さる方を探しています。経験や資格は問いません。目の見えない方の

役に立ちたいと思う方、まずはお問合せください。

●日時／曜日は金曜以外、その都度に応じて。大体13時〜16時半頃の4時間程度。

●条件／スマホの操作ができる方（道を調べる程度）。区の緊急介護人に登録。10000円/時の支給あり（交通費含む）。

●問合せ／北沢ボランティアビューロー 担当 石川
TEL 3420・2520
kitabor@otagaishama.or.jp

講座・その他・募集

小 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） @国士舘大学

2023年度2回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座基礎編」を国士舘大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練・世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。

●日時／9月2日（土）13時30分〜16時30分※13時より受付開始
●会場／国士舘大学世田谷キャンパス34号館（梅丘2-8-17）

●交通／梅ヶ丘駅徒歩9分

●参加費／無料

●申込／9月2日（土）までに、せたがや災害ボランティアセンターH.P内の専用フォーム、またはメールが電話にてお申し込みください。

●問合せ／せたがや災害ボランティアセンター
TEL 5712・5101
saigai-info@otagaishama.or.jp

Aーシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAーシステムによるマッチングサイト（世田谷版GBER「ジーバー」）で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記QRコードからご覧ください。



世田谷ボランティアセンター大規模改修のお知らせ

世田谷ボランティアセンターは、8月1日〜12月末まで大規模改修を行います。その間、会議室・印刷室などの利用ができなくなります。利用再開は2024年1月5日（金）の予定です。会議室利用予約は11月1日（水）から受付開始します。期間中、センター窓口受付対応については以下の時間帯で対応いたします。

火〜金 9時〜21時
土・日 9時〜17時
※事前連絡の上お越しください。

●物品の貸し出し
車いす、白杖の2点です。その他物品の貸し出しは早めにご相談ください。ご不便をおかけし申し訳ございませんが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

●いのちを大切にすると「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障害にとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405
- スペース ココカラ。(ぽーとせたがやパートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

9月2日(土)に2023年度2回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を国士舘大学にて開催します! 詳しくはP.11をご覧ください。

◆ふらっと& with より

すでに連日の猛暑でまいりつぱなしの7月でした。8月も暑さは続く予想。涼しさを求め、今日はスイートを楽しむか、それとも芸術を楽しむか・・・みんなで相談していきたいと思います。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

世田谷の子どもたちに、チャイルドラインカードを届けました。夏休みの間も子どもたちの声に耳を傾けていきます。

編集後記

■今回は、「あんしんすこやかセンター」について、セボネ編集委員の清藤さんの実体験から特集しました。「あんすこって何だろう? どういう役割があるのかな?」と感じている方もいるかと思うので、ぜひ記事をご覧くださいいただければと思います。

■連日の猛暑とともに、大雨も日本各地を襲っています。これから台風接近も多くなってくるので、改めて「いざその時のために」備えが必要ですね。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

